

1. 件名：東海再処理施設の安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請に係る面談
2. 日時：令和3年1月19日(火)14時00分～16時30分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

細野安全管理調査官、田中主任安全審査官、有吉上席安全審査官、小舞管理官補佐、
加藤原子力規制専門員、佐々木技術参与

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

事業計画統括部 次長

安全・核セキュリティ統括部 安全・核セキュリティ推進室 マネージャー

再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他10名

5. 要旨

○原子力機構から、令和3年1月15日の面談における配付資料に基づき東海再処理施設の安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請について説明があった。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

(資料7について)

- ・MPの床応答スペクトルについて、暫定値を用いているのは何故か説明すること。暫定値を使用する場合、暫定値が確定値を包絡していることを説明すること。
- ・HAW、TVF及びMP以外の施設の耐震性の確認にあたり、HAWを参考に廃止措置計画用設計地震動相当の地震力を設定するとしているが、施設毎に建屋構造が異なることや移設毎のリスクを前提として、一律でHAWを参考に地震力を設定することが適当であるかを説明すること。
- ・耐震評価について、機器の剛／柔構造を考慮した評価方法の選定フローを図で整理して示すこと。

○原子力機構より、了承した旨返答があった。

6. 配付資料（令和3年1月15日の面談資料と同じ）

資料1：東海再処理施設の廃止措置段階における安全対策のスケジュールについて

資料2：再処理施設における代表漂流物の妥当性の検証について

資料3：事故対処の有効性評価について

資料4：再処理施設の制御室の安全対策について（再処理施設の有毒ガス影響評価について）

資料5：漂流物の影響防止施設として設ける津波漂流物防護柵について

資料6：ウラン脱硝施設の冷水設備の一部更新について（再処理施設に関する設計及び工事の計画）

資料7：分離精製工場（MP）等の津波防護に関する対応について

資料 8 : 事故対処の有効性評価に関する訓練について（速報）

資料 9 : 東海再処理施設の安全対策に係る面談スケジュール（案）について

（参考）令和 3 年 1 月 15 日 東海再処理施設の安全対策に係る廃止措置計画変更認可
申請に係る面談 議事要旨

<https://www2.nsr.go.jp/data/000340597.pdf>